

平成20年度JAPANブランド採択プロジェクト月次報告

ブランド確立支援事業(2年目)案件:2008年5～6月分

番号	実施団体名／今月の事業実施状況／担当者のコメント
1.	宮城県商工会連合会(NARUKO ブランドプロジェクト)
	< 今月の事業実施状況 > 第1回 プロモーション戦略会議 平成20年 6月21日(土)13:40～ (1)本事業の進め方について 事務局樋口主任主査より、今年度の当該事業に係る実施計画書の説明がなされた。併せて今年度出展を計画する「IPEC2008」について説明を行った。また、熊谷委員より、藤崎百貨店で8月に開催される『クラフトフェスティバル～伝統の技と新たな感性の融合～』(仮称)の説明があり、ブランド訴求のためにも是非出展をしたい旨提案があり、全会一致で了承された。その他、『第12回みやぎものづくり大賞』への出品や、11月に開催される『せんだいデザインウィーク2008』への出展等が了承され、今年度事業は、積極的に本ブランドを対外的にアピールする位置付けであることを出席委員の共通認識とした。 (2)本事業の進め方について 桂委員長・梅田委員・伊藤委員(産業技術総合センター)より今年度の試作品のデザイン及び、製造(部品の接合)に係る提案をそれぞれいただいた。 (3)今年度の目標設定について 標記については、下記のとおり課題を克服することで共通認識を得た。 ○ 試作を早急に開始し、バリエーションを広げること ● 新製品の市場化を図るために、受注→生産→販売の流れを確立する ○ 事業費の範囲内でできる限り作品を披露し、市場の評価を得ること
	< 担当者のコメント > 今年度事業で、新ブランドの市場化が急速に進むような機運である。イベントへの出展はできるだけ効果の上がるような内容にするよう努めたい。
2.	伊達市商工会(JFK ジャパンニットブランドプロジェクト)
	< 今月の事業実施状況 >

	< 担当者のコメント >
3.	足利商工会議所(足利幕府”プロジェクト)
	< 今月の事業実施状況 > ○6月12日、プロジェクト実行委員会開催。報告事項以下5点。 ①. 足利幕府ブランドデザインコンクールの経過について 事務局から説明。昨年からの募集をしている事業。現在で109点の応募があり、7月末日まで募集する。目標は1000点とする。今後は、審査会の審査員の人選をまず行なうこととし、コシノジュンコ氏を委員長とした構成に進めていくと説明。審査会の日程は、コシノ氏、政所氏、会頭の都合により第1候補を8月29日(金)としたい。 ②. JAPANブランド事業について この事業の流れを説明。この事業は戦略策定事業とブランド確立事業の2本柱。足利は現在、戦略策定を経てブランド確立の2年目という位置付け。2／3が国の補助で、事業規模は各年とも3000万円が上限。 ③. 平成19年度(1年目)事業の取組結果について 平成17年度から繊維部会の中から足利ブランド準備委員会(足利銘織創造研究会)を中心として進めてきた事業。目的は、意匠登録第1号である「雲井織」をメインとしたブランド作りです。すすめてきたが、消費者調査を行い、足利には歴史や文化があることから「足利幕府」をメインにしたブランドづくりにしていく方向となった。特に昨年度は、繊維やアルミの試作品づくりをメインとした事業展開をしてきた。そして試作品の発表会として大茶会を開催し、盛況に終わった。 ④. 平成20年度の同事業、採択状況について 今年の採択状況を説明。戦略策定からブランド確立の3年目まで、42件の会議所、商工会が採択となった。栃木県内では、小山が戦略策定、鹿沼がブランド確立1年目、そして足利がブランド確立2年目の3箇所。 ⑤. その他 今年の2月の大茶会(試作品発表会)で来場者からアンケートをした結果がまとまったことを報告。東京の表参道にオープンした「RIN」というアンテナショップの紹介、政所氏がプロデュースする「旅フェア」のPRをした。 続いて、協議事項以下3点 ①. 委員会の設置(規定)と委員の委嘱について 事務局から委員会の設置規定について説明し、異議なく承認される。委員については、会頭を委員長とし18名の委員でスタートしたいと説明。 ②. 本年度事業の計画(方向)について 今年度の重要課題は、まず昨年試作した製品の改良化。そして完成された製品の販売管理ルールの策定。そしてブランド確立の波及により当市の地場産業の底上げを図るものと

	して、産地の再生を目指す説明。 ③. 採択にあたっての審査員指摘事項について 審査員から12項目にわたり指摘をうけ、資料7の赤字で記載されている部分を訂正したことを説明。今回のプロジェクトの主旨としては、足利の歴史・文化を足利幕府というテーマのもと「モノ」に置き換え社会に伝えようというもの。これが、地場産業の復活、足利の歴史と文化の伝承、ブランド確立の実現につながるもの。 最後に、各委員へ委嘱状を渡し、承諾書を署名していただき閉会となった。
	< 担当者のコメント >
	4. 甲府商工会議所(ジュエリー産地山梨・産地ブランド「Koo-fu」プロジェクト)
	< 今月の事業実施状況 > 【委員会の開催】 第1回 日 時 平成20年5月23日(金)午前 10 時 場 所 甲府商工会議所 4階401会議室 内 容 ①実行委員委嘱式 ②平成20年度 JAPAN ブランド「Koo-fu プロジェクト」の内容について ③その他 第2回 日 時 平成20年6月13日(金) 午後1時30分 場 所 甲府商工会議所 4階402会議室 内 容 ①平成20年度 JAPAN ブランド「Koo-fu プロジェクト」の内容について ②その他 【部会】 広報イベント部会 第1回 日 時 平成20年6月10日(火) 午前10時 場 所 甲府商工会議所 4階401会議室 内 容 ①平成20年度 JAPAN ブランド「Koo-fu プロジェクト」に関する広報・イベントについて ②その他 商品開発部会 第1回 日 時 平成20年6月10日(火) 午後1時30分 場 所 甲府商工会議所 4階401会議室 内 容 ①平成20年度 JAPAN ブランド「Koo-fu プロジェクト」に関する商品開発について ②その他 第2回 日 時 平成20年6月24日(火) 午後1時 場 所 甲府商工会議所 5階ホール 内 容 ①商品開発における目標について ②コレクション、ワークショップを含めた検討 ③その他 広報イベント部会 第1回 日 時 平成20年6月10日(火) 午前10時 場 所 甲府商工会議所 4階401会議室 内 容 ①平成20年度 JAPAN ブランド「Koo-fu プロジェクト」に関する広報・イベントについて ②その他

	< 担当者のコメント >
5. 静岡商工会議所(「NIPPON SENSE」プロジェクト)	
	< 今月の事業実施状況 > 5月27日(火)「JAPAN ブランド育成支援事業」審査結果(条件付き採択)に係る意見交換を実施した。 6月19日(木)～27日(金) 当事業で出品を予定している「メゾン・エ・オブジェ2009・1月展」への出品物の作成準備 ・出品家具の撮影を静岡市内の公共施設(静岡市役所、中勘助文学記念館、駿府公園紅葉山庭園茶室、浮月楼)等で行った。(6/30 に日本貿易振興機構(ジェトロ)に「メゾン・エ・オブジェ2009・1月展」への提出書類(出品申込書・承諾書、事前調査書類、会社概要及び出品物写真付英文パンフレット)を送付した。 6月27日(金)第1回「静岡家具ブランド推進委員会」を開催した。 ・委員長に町田光委員、副委員長に松永祐司委員をそれぞれ全会一致で選出した。 ※町田光委員長: (株)ファニコンインターナショナル代表取締役社長・静岡県家具工業組合副理事長 松永祐司副委員長: (株)松永家具 代表取締役社長・静岡県家具工業組合理事 ・JAPAN ブランド育成支援事業について事務局から説明した。そして、甲賀プロデューサーから「NIPPON SENSE プロジェクト」平成 19 年度事業報告並びに平成 20 年度事業計画(案)と今後の方向性について提案、了承を得られた。
	< 担当者のコメント > < 今後のスケジュール > ・8月上旬に第1回ワーキング委員会を開催する。 ※ワーキング委員会は年7回程度開催する。 ・国際見本市メゾン・エ・オブジェ2009・1月展への出品(開催地: フランス・パリ) 開催期間: 平成 20 年1月 23 日～27 日
6. 豊橋商工会議所(三河つくだ煮ブランディング)	
	< 今月の事業実施状況 > 5月21日～22日「東三河外食産業展示会 2008」(豊橋市)に出展 (新ロゴマーク等を用いて「三河つくだ煮」を地元 PR) 5月29日 第2回三河つくだ煮ブランディング推進委員会開催 6月10日 第3回三河つくだ煮ブランディング推進委員会開催 6月23日 第4回三河つくだ煮ブランディング推進委員会開催 上記推進委員会において、平成20年度事業計画の具体化を検討した。

	20年度事業の採択を受け、事業計画の具体化を推進委員会において進めてきた。 今後は、各項目をさらに具体化し、各々の担当ごとにすすめていく。
7. 瀬戸商工会議所(瀬戸・究極のせとものプロジェクト)	
	＜今月の事業実施状況＞ 瀬戸地域ブランド委員会…6月23日に第1回委員会を開催し、瀬戸地域ブランド委員会・作業部会の設置、委員長・副委員長の選出、JAPANブランドの今年度の事業の進め方、今までの各プロジェクトにおける経過報告、今年度のスケジュールについて検討し、委員の皆さんから意見を伺い、専門家の田中章雄氏からアドバイスを頂いた。 瀬戸地域ブランド委員会作業部会…6月23日に第1回作業部会を開催し、専門家の田中章雄氏にアドバイスを頂きながら、陶製ピアカップのビジネスプランについて、お茶プロジェクト・瀬戸基準プロジェクトの進め方について検討した。 お茶プロジェクト…5月11日、6月12日に自主打合せを開催し、6月14日には、四日市市の水沢農業協同組合を訪問し、お茶についての勉強会を開催した。 瀬戸基準プロジェクト…5月11日、19日、6月6日、18日に自主打合せを実施し、6月20日には、ハウス食品(株)名古屋支社を訪問し、カレーについての勉強会を開催した。
	＜担当者のコメント＞ 今年度は、お茶プロジェクトと瀬戸基準プロジェクトの2つのプロジェクトを進めています。お茶プロジェクトでは、四日市市の水沢茶農業協同組合と協力して、本かぶせ茶と陶磁器のコラボレーションを実施していきます。瀬戸基準プロジェクトでは、消費者の方に分かりやすいカレーをいう題材を用いて、『安心・安全、環境にやさしい』をコンセプトに試作品開発にあたります。両プロジェクトとも現地訪問や企業訪問を実施して情報収集を行っています。
8. 蒲郡商工会議所(三河繊維製品のブランド確立プロジェクト)	
	＜今月の事業実施状況＞ H20.5.28(水) JAPANブランド育成支援事業2年目打合せ 於: 蒲郡商工会議所 2年目年間計画について打合せ。製作生地検討会。 製作生地の組織・密度、タテヨコ糸番手、加工仕上げ、柄、色構成等について検討。 寝装品のスタイルデザインの組み立て、後日縫製スタイル指示書を提出。 H20.5.31(土) 於: 今野デザイン事務所(東京都) 専門家メンバー3名事業遂行打合せ(杉山哲三・今野文雄・佐口昌司氏) カラーマーチャライジングのコーディネート計画に基づいてカラー出し作業。 H20.6.13(金) インテリアライフスタイル展視察&打合せ 於: 東京ビッグサイト 秋11月開催のインテリアライフスタイル展出展準備のため、同展視察および30日の製作生地検討会での 織柄、プリント柄、カラー構成等の直し項目等事業遂行打合せ。

	H20.6.30(月)JAPANブランド育成支援事業打合せ 於:蒲郡商工会議所 製作生地検討会。
	< 担当者のコメント >
9.	大野商工会議所・勝山商工会議所(『醗酵によるまちづくりを目指して』)
	< 今月の事業実施状況 > 6月13日 検討委員会の開催 (1)事業計画及び予算について協議 採択を受けて、本年度の事業計画及び予算について協議を行うが、詳細については次回再検討することとなる。 (2)今後の進め方について協議 8月に小泉武夫氏と橋本彦堯氏の両氏に事業推進についてアドバイスを受けることとなる。
	< 担当者のコメント >
10.	鯖江商工会議所(本格的な漆の伝統工芸品「REAL JAPAN ブランド」の展開)
	< 今月の事業実施状況 > (1)試作品 ①デザイン打合せ 5月29日(木)～30日(金) 東京にて村松文彦氏とデザイン打合せ。 6月17日(火)京都へ行き、フレンクラー氏とデザイン打合せ。 今後のブランド展開の調整を行う。 ②職人ネットワーク 6月11日(水)、輪島に行き、打合せを実施。 6月17日(火)、大津に行き、ネットワーク構築に係わる調査を実施。 6月24日(火)、加賀に行き、ネットワーク構築に係わる調査を実施。 (2)展示会(6月末現在) 海外展示会、国内展示会について場所等の決定
	< 担当者のコメント > 2年目となる今年度は、試作品のさらなる改良に加えて、ブランドビジネスの展開及び販路の開拓がポイント。特に来年1月末には、ドイツの美術館やギャラリーにて展示会を予定。海外の知的富裕層等への普及ネットワーク構築を期待している。特に試作品の進捗管理がこれからの課題。



11.	南あわじ商工会(淡路瓦の技術力を活かした「エコ瓦」の開発と世界ブランドの創出)
	< 今月の事業実施状況 >
	< 担当者のコメント >
12.	鳥取県商工会連合会(INABA(因幡)ブランド新商品開発プロジェクト)
	< 今月の事業実施状況 > 平成20年度の事業テーマである「INABAブランド」の新市場開拓を推進するため、6月11日から13日まで東京ビッグサイトで開催されたライフスタイル提案型国際見本市「インテリアライフスタイル展」(メサゴ・メッセフランクフルト(株)主催)に出展。 今回で18回目を迎える国際見本市「interior lifestyle」には、国内外から653社が出展。約3万人が来場した。家具、テキスタイル、生活雑貨などクオリティの高いインテリア製品を多数展示し、新しい生活提案、デザインプロダクトなど趣向を凝らした展示空間で魅せる見本市として注目され、高い評価を得ている。 期間中、因州和紙、智頭杉などを融合させた「INABAブランド」仕切りシリーズのなかから「NAMI」「PARTISHADE」「WA・SAKYU」「SUKASHI」「a Forest」の5アイテムを展示。建築メーカー、セレクトショップ関係者などから高い評価を得ることが出来た。
	< 担当者のコメント >
13.	内子町商工会(五十崎和紙「Ja Gue Na」和紙を使った生活空間の提案)
	< 今月の事業実施状況 > ・フランス人デザイナーとのコラボレーション 独自の和紙加工技術指導のため、ウルヴィツキ・ガボール氏(金箔紙アーティスト・フランス在住)が8月から五十崎へ滞在されるにあたり、入国手続きの手配など、受入れの準備を行った。 ・五十崎和紙作品展の準備・実施 開催期間:6月16日(月)～7月4日(金) 開催場所:住友信託銀行松山支店 ロビー

	主 催:愛媛県・住友信託銀行 展示内容:紙縋り和紙タペストリー・紙縋り和紙キューブ 界限づくり委員会の和紙作品
	< 担当者のコメント >
14.	香美市商工会(土佐打刃物 JAPAN ブランドプロジェクト)
	< 今月の事業実施状況 > ・鯉のタタキセットについて協議 細部の決定(まな板の真空パック／底に張る紙・・・赤のラシャ／落款) プレス用の写真撮り15日から20日・・・t.c.k.w の永田さんが依頼 プレスリリース6月末から7月初旬予定／リリース先は500社 ・包丁セットのバリエーションの変更 香川県の漆を使用し舟行・柳刃・葉切・出刃で材質は檜・サワグルミを使用する ・川遊びセットも検討する カナツキ・ウバシの試作 革細工とのコラボレーションを考える
	< 担当者のコメント > ・販売先の選定が困難
15.	大木町商工会(国産い草を使った花ござブランド創生プロジェクト)
	< 今月の事業実施状況 > 20年度 JB 事業打合せ会を、6月18日(水)午前10時より大木町商工会館「研修室」において開催し、 先ず、佐々木あいさつ(19年度 JB 実行委員長) ①「KUSAWAKE」のポスター、タグを作成し、PR を早急にし、国内に浸透させる事が、重要である。 ② JB 採択結果、指摘事項を十分に検討する、必要がある。 < 協 議 事 項 > 議長に佐々木前実行委員長を選出し、議事進行し、(1) 20年度 JB 採択結果、指摘事項に対応について 各指摘事項を踏まえて、今年度の JB 事業に生かして、実りある事業にしていくことが重要であると言う、認識で全員異議無く了承した。

	(2) 「 KUSAWAKE 」 の表示の件について、 早急にPR、国内浸透を図る必要性から、各社共通のポスター、タグの作成が重要 となって来ることで、全員異議無く了承した。 (3) その他の件について、 ① 11月に「 JAPANTEX2008 」に出展することを目指し、新製品造 りをし、「 KUSAWAKE 」 ブランドとして、出展する為には、7月いっぱいにはデザイン化する必要があ る。 ② 各社の強みを生かした商品を提案する。(当面は、2本立てでいく) [A] 各社個別商品 : [B] フラッグシップモデル (共同商品) [フラッグ商品とは、消費者を掘り起し出きる様な商品づくりが必要で はないのか!!] 次回の会議の日程について、協議した。 ① JB運営委員会の開催 7月10日(木) 午後2時 大木町商工会館「 研修室 」 ② JB実行委員会の開催 7月10日(木) 午後3時30分 大木町商工会館「 研修室 」 以上をもって、全議案の審議を終了した。 時に、12時10分である。
	< 担当者のコメント >